

# 白馬村都市計画マスタープラン 第1回住民ワークショップ 報告書

## 1. ワークショップの目的

白馬村では、平成15年（2003年）3月に策定した白馬のまちづくりマスタープランに従い、まちづくりを進めてきたが、計画の策定を行ってから約20年が経過している。この間、村の人口は減少し続け、平成15年4月1日の9,541人から令和3年7月1日の8,498まで、約千人の人口減少となっており、今後も人口の減少が予測されている。

人口の減少が進む中でも持続可能なまちづくりを進めていくため、白馬村都市計画マスタープランの改定を行う。

この計画の改定に際し、住民意向を反映した実効性の高い計画の策定を目指す観点から、地域住民のまちづくり（都市計画）に対する要望や課題の把握を行うことを目的とし、ワークショップを開催する。

また、併せて地域住民の皆様には計画の概要を説明し、御理解頂くことも目的とする。

## 2. ワークショップの位置づけ

本ワークショップは、今後の計画策定の参考とするための住民意向や要望の把握を目的として実施するものである。ワークショップの結果は計画策定の基礎資料として活用するが、計画の内容を拘束するものとはしない。

## 3. ワークショップの概要

(1) 日時・開催場所 令和3年11月19日（金） 18:00 ～ 20:00（120分）  
白馬村役場隣 多目的研修集会施設ホール

(2) 参加人数 71名

(3) プログラム概要

- ①白馬村都市計画マスタープランとは
- ②アンケート調査結果等の説明
- ③ワークショップの位置づけの確認
- ④都市計画への要望の把握（視点：土地利用、道路、公共交通等）
- ⑤情報共有
- ⑥重点的に進めてほしいまちづくり項目への投票

#### 4. ワークショップの開催状況写真



写真 1 村長挨拶



写真 2 都市計画マスタープラン等の概要説明



写真 3 グループ会議の様子



写真 4 グループ会議の様子



写真 5 グループ会議の様子



写真 6 グループ会議の様子



写真 7 グループ会議の様子



写真 8 グループ会議の様子



写真 9 グループ会議の様子



写真 10 グループ会議の様子



写真 11 情報共有の状況



写真 12 情報共有の状況



写真 13 情報共有の状況



写真 14 情報共有の状況



写真 15 重点的に進めてほしいまちづくりへの投票状況



写真 16 重点的に進めてほしいまちづくりへの投票状況

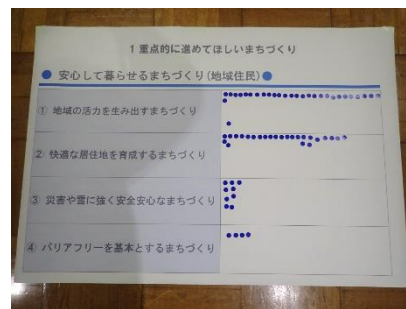
5. 第1回ワークショップ総括（主な意見の概要）

	土地利用	道路	公共交通	上下水道・公園	自然環境	景観	産業・観光	日常生活	地域コミュニティ	安全・安心（防災・防犯等）
・20～30年後に残したくない・良いもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農地、住宅地、観光地として、メリハリをつけた土地利用。</li> <li>○ほ場整備された農地を保全していく。また田園景観としても保全していく。</li> <li>○里山や森林の保全と多様な有効活用。</li> <li>○建物が密でない環境の維持と宅地内緑地の保全。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オリンピック道路の維持、管理</li> <li>○高速道路や高規格道路がないことが良い。国道、県道の機能強化で対応。</li> <li>○高速道路や松本-糸魚川道路の整備の促進。</li> <li>○これ以上の道路の整備は不要。</li> <li>○生活道路が狭く改善が必要。</li> <li>○道路からの景観の維持。</li> <li>○除雪や融雪が良いので継続。</li> <li>○塩の道、小さな小径、未舗装の道などの保全と有効活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○JR 大系線の南小谷-糸魚川間の存続と利便性の向上。</li> <li>○長野-白馬間のバスの存続。</li> <li>○デマンドタクシーは便利。</li> <li>○コミュニティバス、村内循環バスなど、村民、観光客の足の確保。</li> <li>○電車から見える景色を守りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遊具のある公園、のんびり過ごせる公園の整備。</li> <li>○公園整備は、造りすぎない。</li> <li>○村全体が公園のようになっており、維持が必要。</li> <li>○松川河川公園、大出公園の維持。</li> <li>○きれいでおいしく安全な水を残す。</li> <li>○水資源の小水力発電等への有効な活用。</li> <li>○ごみ焼却場の跡地を公園として活用。</li> <li>○誰でも利用できる運動施設の整備。</li> <li>○上下水道の老朽化への対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かで水質が良い水の保全。</li> <li>○きれいな空気の保全。</li> <li>○自然環境、自然景観の維持と四季折々の有効活用。</li> <li>○白馬独自の植生の保護と有効活用。</li> <li>○姫川流域の自然環境の保護。</li> <li>○自然の中でのレクリエーションの継続。</li> <li>○自然環境が生み出す景色の保全。</li> <li>○北アルプスとスキー場（草地）の保全。</li> <li>○雪国の文化や四季の良さを学ぶ機会の創設。</li> <li>○温泉の有効活用。</li> <li>○自然環境への負荷の軽減。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○庭先からの北アルプスの眺め。</li> <li>○山岳景観に高圧線が影響しているので改善が必要。</li> <li>○山岳景観、里山景観、森林景観の保全。</li> <li>○色彩計画の見直しが必要。</li> <li>○かやぶき屋根、はげかけ、緑の風景など、古くからある白馬らしい景観の保全。</li> <li>○景観を引き立たせる農地の維持管理。</li> <li>○田園風景にある石積みの畔の保全。</li> <li>○景観要素としての東山の自然の保全。</li> <li>○観光資源としての景観の保全。</li> <li>○眺めがよい場所の保全。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○白馬ブランドの構築。</li> <li>○岩岳における新たな観光への取り組みの継続。</li> <li>○グリーンシーズンに重点を置いた通年観光のためのメニューの開発。</li> <li>○スキー場の維持、継続。</li> <li>○青鬼集落の保全。</li> <li>○農業の保全。観光と農業を結び付けた取り組み。</li> <li>○温泉の有効活用。</li> <li>○自然を生かした観光の継続。</li> <li>○新しい産業を興すための新規流入者の増加。</li> <li>○既存の資源、地域文化を利用した観光誘致。</li> <li>○ワークライフバランスの推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○白馬南小学校の存続。</li> <li>○歴史、生活風習など地域の文化の継承。</li> <li>○多様な文化の継承。</li> <li>○白馬高校の存続。</li> <li>○白馬インターナショナルスクール学校への期待と共存。</li> <li>○若者が働くことの出来る場の確保。</li> <li>○保、小、中、高の生徒と地元との交流の継続。</li> <li>○日常生活に不便のない環境の継続。</li> <li>○リモートワーク対応の継続。</li> <li>○課題解決型教育環境の継続。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地区での共同作業ができています。</li> <li>○老人力、根気、知恵の活用。</li> <li>○各地域の祭りなどの伝統行事の存続。</li> <li>○近隣のコミュニティの維持、構築が必要。</li> <li>○移住者のコミュニティへの受け入れがスムーズ。</li> <li>○白馬高校存続への取り組み。</li> <li>○地域と人と区とのつながりが、地域の安心となっている。</li> <li>○外国人を含め、多文化共生の維持。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時に助け合うことができる付き合いの継続。</li> <li>○防犯に対して安心して住める環境の維持。</li> <li>○隣の顔が見え、助け合える関係の維持。</li> <li>○消防団の活動の継続。</li> <li>○自警団の活動の継続。</li> <li>○村として防犯カメラ等の防犯システムの導入が必要。</li> <li>○一人暮らし高齢者へのお弁当宅配の継続。</li> <li>○神代断層地震時の地区の連携の継続。</li> </ul>
・20～30年後が不安なこと・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光系施設や住宅等の空き家への対応が必要。</li> <li>○外国人土地購入者や投機目的の土地購入が増えている。</li> <li>○無秩序な土地開発が行われており、計画的な土地利用が必要。</li> <li>○農地の保全、維持管理、荒廃農地を農地として有効利用が必要。</li> <li>○森林、里山等の整備と野生動物との棲み分けが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○無駄な道が多く、維持費がかさむ。今ある道路の充実が必要。</li> <li>○幹線道路と生活道路の棲み分けが必要。</li> <li>○富山-白馬-長野まで通じる道路の建設が必要。</li> <li>○松本-糸魚川道路の建設促進。</li> <li>○松本-糸魚川道路は不要。</li> <li>○国道406号の整備、トンネル化。</li> <li>○道路管理が不十分になることが危惧される。</li> <li>○塩の道、生活道路の安全性の向上。</li> <li>○除雪体制の維持が課題である。</li> <li>○松本-糸魚川道路による地域の分断が心配。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○JR 大系線の存続が必要。</li> <li>○JRには不便さがあり改善が必要。</li> <li>○大系線の観光資源としての活用。</li> <li>○子ども、高齢者等交通弱者の移動手段の確保が必要。</li> <li>○村内の定期運行バスの整備が必要。</li> <li>○通学バスの整備が必要。</li> <li>○長野-白馬間のバスの利便の向上。</li> <li>○白馬の玄関口である駅周辺の整備と活性化が必要。</li> <li>○観光や村民の利便のために、都市や空港等へのアクセス性の向上が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○クロスカントリーコースの整備が必要。</li> <li>○上下水道の老朽化への対応が必要。</li> <li>○下水道の普及、利用促進への取り組み。</li> <li>○浄化槽の適正運用の指導。</li> <li>○公園の適正な維持、管理が必要。</li> <li>○人口減少化においても上下水道施設の維持管理が必要。</li> <li>○遊具や広場のある公園の整備が必要。</li> <li>○自然のわりに水がおいしくない。改善が必要。</li> <li>○水道の水質維持が必要。</li> <li>○水源確保と保全。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大規模開発による自然破壊の防止が必要。</li> <li>○外来生物の影響による在来種の絶滅の防止が必要。</li> <li>○水質保全が必要。</li> <li>○野生鳥獣による被害軽減のための里山整備等へ取り組みが必要。</li> <li>○宅地化による環境への影響の軽減が必要。</li> <li>○公共事業における自然環境保全への取り組みが必要。</li> <li>○脱炭素への取り組みが必要。</li> <li>○雪が降らなくなることへの危惧。</li> <li>○水資源を有効に活用する小水力発電等の活用が必要。</li> <li>○自然環境を有効に活用するための山岳登山道等の整備が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ソーラー発電について検討が必要。</li> <li>○無電柱化事業の推進と対象地域以外の電柱の検討。</li> <li>○配置、色彩、屋根の形等、建物への規制の検討が必要。</li> <li>○現在のままの景観の保全が必要。</li> <li>○公共事業における景観保全への取り組みが必要。</li> <li>○白馬駅前の建物の統一感が必要。</li> <li>○街路樹の必要性の検討及び路傍の草刈への対応が必要。</li> <li>○屋外広告物の規制が必要。</li> <li>○北アルプスを眺望するための場所の設置が必要。</li> <li>○景観対策として空き家対策の検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人口増加に結び付く産業が必要。</li> <li>○通年雇用の確保が必要。</li> <li>○農林業等の担い手確保が必要。</li> <li>○農業の継続への取り組みが必要。</li> <li>○観光関連施設の継続と老朽化、廃墟化への対応が必要。</li> <li>○観光に頼らない産業の振興が必要。</li> <li>○里山の整備と観光資源としての活用が必要。</li> <li>○アフターコロナを見据えた取り組みが必要。</li> <li>○若者の働く場の確保が必要。</li> <li>○大系線の観光への活用が必要。</li> <li>○通年観光への取り組みが必要。</li> <li>○雨天時に活用できる観光施設の開発が必要。</li> <li>○白馬の歴史的文化財等を活用した観光産業が必要。</li> <li>○山岳観光を手軽に楽しむことの出来る仕組み作りが必要。</li> <li>○農家、宿泊業の後継者対策が必要。</li> <li>○リゾート地としてのたたずまいの創出が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢化によるコミュニティの維持について検討が必要。</li> <li>○出産、子育てがしやすい村とすることが必要。</li> <li>○病院や学校などが必要。</li> <li>○青鬼の棚田と民家の維持、管理が必要。</li> <li>○地区の合意形成が必要。</li> <li>○住民の孤立化を防止する取り組みが必要。</li> <li>○公共サービスが行き渡ることが必要。</li> <li>○図書館の整備が必要。</li> <li>○ごみの分別の徹底が必要。</li> <li>○高齢化に伴いグループホームの設置が必要。</li> <li>○雪捨て場の確保が必要（エコーランド）。</li> <li>○車がない場合には買い物等が不便であり対策が必要。</li> <li>○障がいがある人も生活しやすい対応が必要。</li> <li>○学校の統廃合が問題。</li> <li>○大きな病院が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○移住者が、区に入りたがらないため、対策が必要。</li> <li>○地元住民と移住者、外国からの移住者の相互理解が必要。</li> <li>○外国人とのコミュニティのための積極的な活動が必要。</li> <li>○地区コミュニティ間の格差の解消が必要。</li> <li>○若者の流出、高齢化により区の維持が難しくなっており、対応の検討が必要。</li> <li>○入区しながらない移住者等への対応が必要。</li> <li>○生活の知恵（農業、林業を含め）の活用が必要。</li> <li>○後継ぎがないため、限界集落が発生する可能性があり対応が必要。</li> <li>○空き家はあるが、借り手が見つからない、貸したがらないため、対策が必要。</li> <li>○昔の白馬の良さ、文化、民泊らしい温かさの再興の検討が必要。</li> <li>○高齢者も安心して生活し、活躍できる地域の検討が必要。</li> <li>○子どもを中心とした地区行事の継続が必要。</li> <li>○学校の統廃合はやむを得ない。</li> <li>○多くの人に引き渡す情報発信の検討が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○神代断層地震の経験を次世代につなげることが必要。</li> <li>○泊まることの出来る避難所の整備が必要。</li> <li>○大型トラックの通過が多く、対策が必要。</li> <li>○情報弱者に対する情報共有の方法の検討が必要。</li> <li>○南小学校が危険な場所にあり、避難場所となっていないため、対策が必要。</li> <li>○人工林の手入れが行き届かず災害の原因となる可能性があり、対策が必要。</li> <li>○野生鳥獣被害を防止するため、人間との境界を明確にするための対策が必要。</li> <li>○近所付き合いが希薄にならないよう取り組むことが必要。</li> <li>○消防団の団員を増やすための取り組みが必要。</li> <li>○外国人観光客へのマナー、モラルの周知が必要。</li> <li>○糸魚川-静岡断層等による地震への備えが必要。</li> <li>○土砂災害、河川氾濫等を未然に防ぐための対策が必要。</li> </ul>

## 6. 重点的に進めてほしいまちづくりへの投票結果

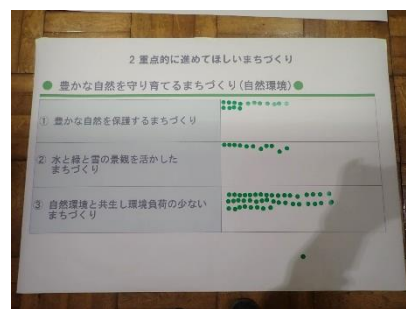
### ●安心して暮らせるまちづくり（地域住民）●

項目	投票数
①地域の活力を生み出すまちづくり	29
②快適な居住地を育成するまちづくり	15
③災害や雪に強く安全安心なまちづくり	9
④バリアフリーを基本とするまちづくり	4



### ●豊かな自然を守り育てるまちづくり（自然環境）●

項目	投票数
①豊かな自然を保護するまちづくり	15
②水と緑と雪の景観を活かしたまちづくり	11
③自然環境と共生し環境負荷の少ないまちづくり	42



### ●観光地としてすべての人がくつろげるまちづくり（観光客）●

項目	投票数
①快適な観光地を形成するまちづくり	15
②魅力ある景観を創出するまちづくり	41
③全ての観光客にやさしいまちづくり	11

